

広告

■編集・発行／石狩市企画経済部秘書広報課 〒061-3292 北海道石狩市花川北6条1丁目30番地2 Tel.0133-72-3145 Fax.0133-74-5581
[HP] <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/> 【携帯電話用HP】 <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/mobile/> [Eメール] hisjokoh@city.ishikari.hokkaido.jp

■制作／(株)キューコーポレーション
■印刷・製本／(株)フayカード

■配布問合せ／(有)エリス企画 ☎0133-73-5444
厚田区・浜益区は各支所へ 厚田 ☎78-2011 浜益 ☎79-2111

年頭

立花隆は「人間みな四次元時空の中で人生という旅をしている旅人なのだ」と著書に記し、松尾芭蕉は「月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人也。」と、去つてはまた来る年も旅人のようなものだとして残した。今年はお未踏の境地に踏み入る年であることは容易に想像がつくだけに、何が起きても旅に等しいと意識するとむしろ俯瞰の目で見ることができ、現実を冷静に受け止められる。▼ポピュリスト、ナシヨナリズム、右傾化、価値の変動、グローバル化など、これらを要因として2016年は大いに動いた。引き続きイタリア、フランスの選挙の如何によつてこの傾向は進むのか、さらに注目される。しかし、考えてみると事の本質はいつか来た道を繰り返すに過ぎず、これもまた「行かふ年も又旅人也。」なのだ。▼「誰が言ったか知らないけれど」歴史のリズムとして60年周期説があるという。普通一生に一度は体験することにもなる、であるとしたら70年ほど前の世界を覆った閉塞感、帝国主義の台頭に環境は似ている。現在、情報は一夜にして地球を巡り、私たちの生活に響いてくる。年の初めに早くも肩こりがひどくなってきた。正月休暇を旅に出たにもかかわらず。(市長)